

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-113713

(43) 公開日 平成4年(1992)10月6日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
F 0 1 M 1/06	A	8109-3G		
	D	8109-3G		
	K	8109-3G		
F 1 6 C 3/14		8012-3J		
9/02		8012-3J		

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 2 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 実願平3-16898

(22) 出願日 平成3年(1991)3月20日

(71) 出願人 000006286

三菱自動車工業株式会社

東京都港区芝五丁目33番8号

(72) 考案者 白石 一洋

東京都港区芝五丁目33番8号・三菱自動車  
工業株式会社内

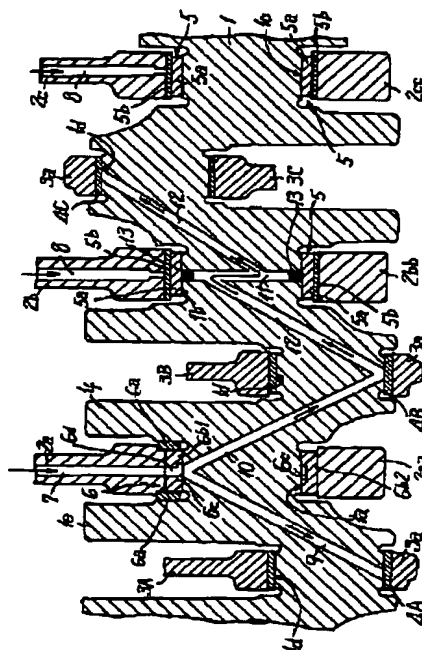
(74) 代理人 弁理士 榊山 亨 (外1名)

(54) 【考案の名称】 コンロッド・ベアリング潤滑構造

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 クランクジャーナルをローラベアリングで支持するとき、プレーンベアリングからなるコンロッドベアリングを確実に潤滑する。

【構成】 クランクシャフト1とシリンダブロック2 a, 2 b, 2 cとの間に設けられるジャーナルベアリング(6, 5)の一つを、スラストベアリングを兼ねたプレーン型ベアリングからなるプレーンジャーナルベアリング6で構成し、クランクシャフト1にベアリング6とプレーンコンロッドベアリング4 A, 4 B, 4 Cとを連通するオイル供給孔9, 10, 11, 12を形成し、シリンダブロック2 aを介してジャーナルベアリング6とクランクシャフト1との間に供給されるオイルを、オイル供給孔9, 10, 11, 12を介してプレーンコンロッドベアリング4 A, 4 B, 4 Cに供給してこれを潤滑することを特徴とする。



## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 クランク・シャフトをシリンダ・ブロックに回転自在に支持するジャーナル・ベアリングとしてローラタイプ・ベアリングを用いてローラ・ジャーナル・ベアリングとし、コンロッドを上記クランク・シャフトに回転自在に連結するコンロッド・ベアリングとしてプレーンタイプ・ベアリングを用いてプレーン・コンロッド・ベアリングとしたエンジンにおいて、上記クランク・シャフトとシリンダ・ブロックとの間に設けられるジャーナル・ベアリングの一つを、スラスト・ベアリングを兼ねたプレーンタイプ・ベアリングからなるプレーン・ジャーナル・ベアリングで構成し、クランク・シャフトに上記プレーン・ジャーナル・ベアリングとプレーン・コンロッド・ベアリングとを連通するオイル供給孔を形成し、シリンダ・ブロックを介して上記プレーン・ジャーナル・ベアリングとクランク・シャフトとの間に供給されるオイルを、上記オイル供給孔を介して上記プレーン・コンロッド・ベアリングに供給してこれを潤滑することを特徴とするコンロッド・ベアリング潤滑構造。

20

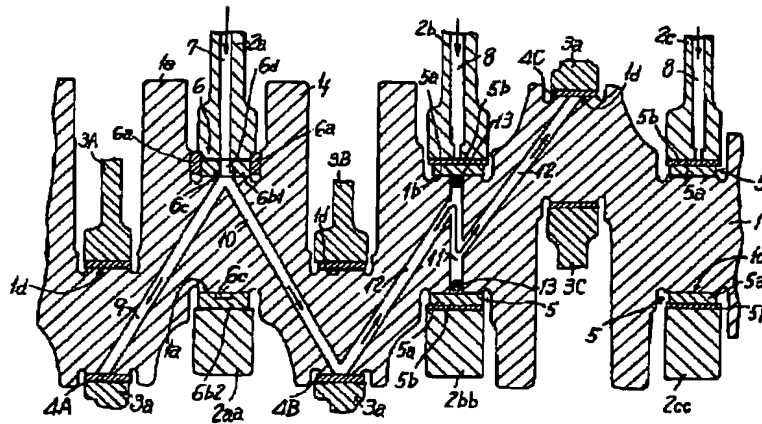
## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例を示すコンロッド・ベアリング潤滑構造の断面図である。

## 【符号の説明】

- 1・・・クランク・シャフト  
 1a, 1b, 1c・・・クランク・ジャーナル  
 1d・・・クランク・ピン  
 1e, 1f・・・バランス・ウェイト  
 2a, 2b, 2c・・・シリンダ・ブロック  
 3A, 3B, 3C・・・コンロッド  
 4A, 4B, 4C・・・プレーン・コンロッド・ベアリング  
 5・・・ローラ・ジャーナル・ベアリング  
 6・・・プレーン・ジャーナル・ベアリング  
 6a・・・スラスト・ベアリング  
 6b1, 6b2・・・プレーン・ベアリング  
 6c・・・オイル溝  
 7, 8・・・オイル供給路  
 9～12・・・オイル供給孔

【図1】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>6</sup>

F 16 C 33/10

識別記号

庁内整理番号

Z 6814-3 J

F I

技術表示箇所

BEST AVAILABLE COPY